

「桜を見る会」について安倍首相の説明責任を果たすことを求め

る意見書

税金を使った公的行事「桜を見る会」についての安倍晋三首相の私物化疑惑は文字通り底なしの状況を呈している。安倍首相の招待枠1000人に私人であるはずの昭恵夫人の友人も多数招待されていたこと、安倍晋三後援会主催の「桜を見る会」前夜祭の収支をめぐる疑惑など、次々に問題が浮上している。

11月8日参議院予算委員会で、「桜を見る会」に安倍首相の後援会員を大勢招待していた事実を田村智子参議院議員が質問した。安倍首相は「招待者の取りまとめには関与していない」と答弁したが、首相の地元後援会事務所が「桜を見る会」を含むツアーの案内状を送っていたことが報道され、明らかに答弁とは食い違っている。さらに2015年の「桜を見る会」にはすでに違法行為が問題になっていたマルチまがい商法ジャパンライフ会長にも安倍首相の招待枠で招待状を送っていた疑惑も浮上している。その招待状が利用されさらに被害が広がっており、その点でも責任は重大である。

さらに問われなければならないのは、政府の情報隠しであり、資料請求した当日に資料が廃棄され、残っていたバックアップデータも「廃棄した」と偽りの答弁をおこなっているが、悪質な隠蔽工作である。

マスメディアの世論調査でも、首相の説明に「納得できない」との声が圧倒的多数である。

よって町田市議会は、「桜を見る会」についての首相の説明責任を果たすことを求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。